

脚本家に挑戦?!

第20回
演劇
セミナー



トット
文化館

手話通訳有



クラウンにチャレンジ?!

2018年7月14日(土)~16日(月)

一緒に演劇を学びませんか?

参加費

5,000円(受講料、保険料含む)※非会員はプラス1,000円
(交流会参加希望の方は2,500円いただきます)
(宿泊は各自手配お願いいたします)

持参物

上履き、動きやすい服装
保険証、参加費、確認証など

参加
対象

全国のろう者演劇仲間の方
及びろう者演劇に関心を持つ方

定員

40名

申込
締切日

2018年6月25日(月)



文化庁委託事業
平成30年度

次代の文化を創造する
新進芸術家育成事業

主催:全日本ろう者演劇会議 主管:日本ろう者劇団

協力:社会福祉法人トット基金 後援:一般在団法人全日本ろうあ連盟(予定)

	14日	15日	16日
9:30		講座A 「クラウンⅡ」	講座B 「脚本講座Ⅱ」
11:00			各グループリハーサル 発表会・合評会
12:00	受付開始	昼食	
13:00	オリエンテーション		演劇人代表者会議 (予定)
14:00	講座A 「クラウンⅠ」	講座A 「クラウンⅢ」	講座B 「脚本講座Ⅲ」
17:30	夕食		
18:00	特別講座 「ろう演劇と手話言語」 教育・文化委員会委員 委員長 石橋大吾氏	交流会 ※交流会参加希望の方は 別途2500円いただきます	
20:00	終了	終了	



講座 A: ロネ&ジージ「音声を使わないクラウンパフォーマンス」

クラウンカレッジを卒業後コンビ結成、クラウン劇団 OPEN SESAME を立ち上げる。さらなる演劇的表現を求めて旧ソ連最後のモスクワに渡る。現ウクライナ国立サーカス・クラウン大学、モスクワ芸術座のオレグ・タバコフに学ぶ。ヨーロッパを代表する女性のクラウン、イギリスのノーラ・レイの秘蔵っ子。
ウイスコンシン大学クラウンプログラムで14年間講師を務めたクラウンの指導力には定評がある。
2005年レジデンス・アーティスト(シンガポール)特別支援校児童の指導、少年刑務所受刑者の更生プログラム指導。

内容：クラウンと演劇(伝統と背景)、手話世界とクラウンの共通点、言語に頼らない演技
非日常的な表現・クラウニングの紹介、スキルの紹介(ジャグリングやパントマイム)、変身の理論(衣裳やメイクの紹介)



講座 B: 米内山陽子「脚本講座」

劇作家・演出家・舞台手話通訳・手話コーディネーター
1978年 広島県生まれ、ろうの両親の元に生まれたネイティブサイナー。1992年から俳優として演劇を始め、1999年に作・演出に転向。2010年に執筆した戯曲の公演で、小劇場初の舞台手話通訳に立つ。舞台を中心に手話通訳、指導を行う。2012年にユニット「チタキヨ」を立ち上げ、劇場外での演劇を行っている。戯曲「残夏-1945-」劇作家協会新人戯曲賞一次選考通過、一人芝居「あの人だけの名前」(作・演出)ベストファイトアローン賞。

ろう者の戯曲は文字で表す?手話で表す?それとも……?基本的な戯曲の組み立て方。ストーリーの作り方の一例をお伝えします。そして、ろう者の戯曲について、皆さんと考え、形にしていきたいと思います。

参加申込

下記に必要事項ご記入の上、QRコード、E-MAILまたはFAXにてお送りください。
折り返し受付確認証をお送りします。

E-MAIL jtd@japan.email.ne.jp FAX 03-3779-0206

QRコード



氏名			男・女・その他
ご住所	都・道・府・県		
連絡先	FAX () TEL ()	E-MAIL (@)	
所属団体	ろう者・聴者	()	会員 () 非会員
参加	① クラウン()	② 脚本講座()	交流会()